

非核・平和啓発

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
平和 (1)	戦争の傷あと	VHS	31	戦争が残した影響は、戦争が行われた期間と同じくらい長引く問題です。和平協定などで戦争が終結しても、その影響はすぐさま消えるわけではありません。
平和 (2)	21世紀に遺しておきたい語り部シリーズ ヒロシマ	VHS	70	平和への熱い想いを語るヒバクシャの姿を通して、被爆の悲惨さとともに、命の重さ、人間のすばらしさに出会うことができます。
平和 (3)	1フィート映像でつづる ドキュメント沖縄戦	VHS	57	太平洋戦争の決戦場となった沖縄戦では日米双方で20数万人が死んだ。とりわけ沖縄住民の被害は大きく、県民の4人に1人が命をおとした。
平和 (4)	もし、この地球を愛するなら	VHS	26	1983年4月、第55回アカデミー賞授賞式で、監督のテリー・ナッシュ女史はオスカーを手に「この映画を宣伝してくれた米国司法省に感謝する」と皮肉まじりに受賞の挨拶をし、満場の拍手を浴びた。
平和 (5)	地球の風ぐるま ヒロシマ・ナガサキに学ぶ	VHS	32	戦後50余年一戦争の悲惨さ、おろかさを忘れさせるにはほどよい時間がたった、ということか。軍勢力の展開、公使で国際貢献を、国益を、と考える勢力、人々はしきりに過去（侵略戦争、植民地支配、その間の非人道的行為）を合理化し、相対化し、さらに美化したり、なかったこと、と言いつつっています。
平和 (6)	一分のすきもなく武装して - 世界にはびこる小型武器の現状 -	VHS	28	今、世界には、全人口の10人に一人が手にすることができます。銃社会の現状とその危険性を考える。
平和 (7)	おこりじぞう	DVD ・ VHS	28	日本がまだ戦争をしていた昭和20年、広島に住むひろちゃんは「わらいじぞう」と呼ばれる笑い顔のお地蔵さんと大のなかよし。8月6日、その日はひろちゃんの6回目の誕生日、そして運命の日でした。柱時計が朝8時15分を指したその瞬間、ピカッと光ると同時にものすごい音と大爆発。「みず…おかあさん…みずちょうだい」とわらいじぞうにすぎるひろちゃんの背中中、大やけどです。その時、いつもにこにこしていたわらいじぞうの顔が…。
平和 (8)	戦争出前囃 (学校編)	VHS	45	本多立太郎の戦争出前囃（語り）
平和 (9)	戦争出前囃 (一般編)	VHS	45	本多立太郎の戦争出前囃（語り）
平和 (10)	かんからさんしん	VHS	78	太平洋戦争末期、沖縄は米軍の猛爆撃を受け、珊瑚礁の海をみるみる血で染め上げました。「生きる」ことの意味を「かんからさんしん」（沖縄の手作り三味線）にのせて唄う人々と、沖縄戦の悲惨さがアニメによって描かれています。
平和 (11)	つるにのって 『とも子の冒険』	DVD ・ VHS	27	小学生6年生の元気な少女とも子は、夏休みのある日、広島原爆資料館を訪れました。とも子は、平和公園で不思議な少女と出会いました。彼女の名前はサダコ。そして、サダコの案内で、とも子の不思議な不思議な冒険が始まります。
平和 (12)	ぞう列車がやってきた	VHS	80	戦争中、たくさんの動物が殺されました。二十頭いた象も殺され、残ったのは名古屋の東山動物園にいる二頭だけでした。戦後、二頭の象のマカニーとエルドに会いたいという子どもたちの熱い願いが大人たちを動かし、東京をはじめ全国から「ぞう列車」に乗って子どもたちが東山動物園にやって来ました。

非核・平和啓発

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
平和 (13)	きけ、わだつみの声	VHS	107	終戦間近、ビルマ・インパール作戦に参加し、敗走を続ける部隊の中で飢えと披露にさいなまれ、“仇も恨みも無い人間を殺さねばならない自分は侵略戦争を憎み祝う。”と呻吟しながら散っていった、若者たち。東大出版部で編集・出版され、すべての日本人を感動させた戦没学生の手記「きけわだつみのこえ」を原作に、学徒兵の偽らざる姿を、反戦と平和への願いを込めて描いた問題作です。 ビルマの密林で偶然会った、牧見習い士官と、その学生時代の恩師・大木二等兵。彼らの部隊は、師団命令により、傷病兵を置き去りにして前進するが、絶望した傷病兵は自決し、隊は敵の猛烈な砲撃を受け壊滅的消滅を被る。そんな中、大隊長は逃亡し、地獄絵のような凄絶な光景の中に、重傷の牧とその元恩師らが残された・・・
平和 (14)	火の鳥と出会う旅	VHS	15	「在学中、この手塚治さんの絵をみた時、すごい絵だなあという程度にしか感じませんでしたが、社会人になった今、よくよく見てみますと、作者がこの火の鳥に恒久平和への想いを込めていたんだというのを感じます。ここは“立命館大学国際平和ミュージアム”戦争の歴史と平和の大切さを学ぶところです。ちょっと時間を作ってのぞいてみて下さい。きっと以外なことが発見できますよ。」（小林 綾子 1994年度立命館大学卒業・女優）
平和 (16-1)	はだしのゲン	VHS	90	この映画は、戦争中の広島で中沢家の人々の生活を中心に始まる。 ゲンの父親は、戦争反対を叫び続けるため軍部につかまり、拷問や弾圧に耐えながら戦争反対を叫びつづける。そのためゲン一家は非国民呼ばわりされつづけるが、みんなで力をあわせて明るく楽しい家庭をつくっている。そんな明るい家庭も、1945年8月6日の原爆投下によって、一瞬に破壊してしまう。父、姉、弟は家の下敷きで死んでしまう。残された母とゲンは、廃墟のヒロシマで死んだ父、姉、弟の分まで生きようと誓う。 原爆によって受けた苦しみに負けることなく、力強く生きる姿が、子供たちに平和の尊さを訴えつづける。
平和 (16-2)	はだしのゲン 2	VHS	90	今回の作品では、小学校四年生に成長したゲンを中心に、原爆孤児たちが、廃墟の広島で明るく生きていく姿を描いています。エンコウの政、ドングリ、カッチン、ムスビ、そしてケロイドの少女勝子。それぞれが悲しみと苦しみをのりこえて、健気に生きぬいている姿が観る人の心をゆさぶり、感動を呼び起こします。 物語は、ゲンの母親の発病から死までを軸に展開していきます。原爆症で倒れ、しだいしだいにやせ細っていく母親……。ついには病院に背負われていく途中、ゲンの背中で命の灯りを消すのです。 「わしゃ麦になるんじゃ！ 厳しい冬に芽を出し、何度踏まれても強くまっすぐ伸びて実をつける、麦になるんじゃ！」 ラストシーンのゲンの叫びは、子どもの胸をうち、共感を呼び、また、大人が忘れかけているものをよみがえらせるでしょう。 豊かな人間愛とたくましく生きる力、平和への願い—この作品は、それらを子どもたちのしなやかな感性に、強くうたえていくことでしょう。

非核・平和啓発

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
平和 (19)	対馬丸 ーさようなら沖縄ー	DVD ・ VHS	75	8月22日夜10時12分、沖縄から九州に向かう学童疎開船の一隻が米潜水艦の魚雷をうけ、鹿児島南方海上で沈没。船には、学童を含む1661人が乗っていたが、そのほとんどの命が暗い波間に消えていった。
平和 (20)	ヒロシマに一番電車が走った	VHS	30	戦時中、広島では戦地に行った男性の代わりに、多くの少女たちが路面電車の車掌や運転士として働きながら学んでいた。元少女車掌たちの体験手記をもとにアニメーション化された作品である。
平和 (21)	一つの花	DVD (副音声字幕スーパー付) ・ VHS	23	昭和19年太平洋戦争の真只中、戦況は悪く食糧難であった。「一つだけちょうだい」2歳にならないゆみ子が覚えた最初の言葉。おなかをすかし「もっと、もっと」ねだるゆみに、「じゃあね、一つだけ」と分けてくれるお母さんの言葉だった。戦争の真実、食糧難による飢餓感を分かりやすく描き、平和と生命の尊さを伝えている。
平和 (23)	シロとたけし	DVD	16	戦争中に軍の命令で殺された飼犬の悲劇。シロと、少年の心を通して描く、マンガスライド。
平和 (25)	おかあさんの木	DVD	22	戦場に7人の息子を送り出した母親は、彼らが手柄を立て、無事に帰ってくるのを祈りますが…。教科書に全文掲載されている大川悦生原作の同名著作をアニメ化したもの
平和 (27)	ヒロシマ ・母たちの祈り	VHS	30	1945年8月6日。午前8時15分。時計はその悪夢の瞬間をいつまでも留め続けています。まるでその時の惨状を忘れるなど、人々に訴えかけているかのように。ドキュメンタリー「ヒロシマ・母たちの祈り」は、この問題を一人でも多くの人たちに考えてもらうためにつくられました。
平和 (31)	ムッチちゃんの詩	DVD ・ VHS	102	時は、日本の敗色濃い昭和20年。東京・大阪はじめ主要都市は、アメリカの空爆でほとんど壊滅状態であった。主人公、睦子。父はすでに戦死。母と弟をその年の5月29日、横浜大空襲で共に失い、孤児となる。はるか遠い九州、大分に伯父伯母を探し求めるが、同様に空襲で死亡。唯一の従姉にめぐり会えたのも束の間、当時、亡国病と恐れられていた結核に冒されたがゆえに人びとから遠ざけられ、暗く冷たい防空壕の中で、わずか12才の生涯を閉じたのである。
平和 (32)	夏服の少女たち	VHS	30	昭和20年に広島県第一高女に入学した一年生は、物資不足のため制服がなかった。そこで、彼女たちは、母親のお古などで夏の制服を縫い始めたのだが、やっと出来た喜びも束の間、8月6日を迎える…原爆の悲劇を描いた感動のドラマ
平和 (33)	しんちゃん のさんりんしゃ	DVD	24	伸ちゃんと君ちゃんは大の仲良し。八月六日も伸ちゃんは君ちゃんを誘って三輪車で遊びに出かけました。空はピカッとひかり、伸ちゃんの楽しい夢は消えてしまいました。
平和 (34)	地雷を踏んだ象	VHS	24	1999年夏、タイとミャンマーの国境で地雷を踏み、左の前足を失ってしまった雌のアジア象・モータラ。“モータラ”とは“緑の人(ひと)”の意味。「もう一度、自由に森の中を歩けるようにしてあげたい…」モータラの飼い主で、森と一緒に木材を運搬する仕事をしているソムワン君も本当に心配そうです。「ボクの兄弟なんだ…」 地雷を踏んで2週間後、タイにある世界で初めてできた象病院で、モータラの大手術が始まりました。病院には村民やお坊さん、子どもたちも詰めかけています。体重3トンのモータラを吊り上げるためにつくられた特大の手術台、その上のモータラには70人分の麻酔薬が射たれています。象のように大きな動物に全身麻酔をかけて手術を行うのは、世界でも初めて。大変難しい手術です。果たしてモータラは・・・

非核・平和啓発

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
平和 (35)	よみがえれ命の歌声	VHS	22	第二次世界大戦中、チェコの片田舎に、ナチスドイツの宣伝活動のため、ユダヤ人芸術家や、子どもたちが集められた収容所がありました。その収容所では、宣伝用の活動とは別に、自分たちの為の芸術活動が、ひっそり行われていました。そこで人々に最も愛された音楽のひとつが、子どもたちのオペラ「ブルンジバール」です。「ブルンジバール」は、作者ハンス・クラサ演出のもと、収容されていた子どもたちによって、屋根裏部屋などで、上演されました。家族との別れや、飢えの苦しみ、死の恐怖にも耐え、人々はこの歌を繰り返し口ずさんだと言います。こうして誕生した数々の名曲のうち、いくつかは、収容所から「移送（多くがガス室へ）」が行われる前、それぞれ屋根裏に隠されたり、友人の手へ託されました。それが、時を越え、最近「発見」されたのです。戦後、チェコに生まれ、戦争やこうした歴史を、知ることなく育った子どもたちが数少ない生存者の話を聞き、当時の様子を掘り起こしながら、オペラ「ブルンジバール」の再演に挑みます。
平和 (37) -1	吉永小百合 祈るように語り続けた い 広島編	VHS	53	吉永小百合は、1986年の反核平和集会に招かれて初めて原爆の詩の朗読をした。その後、自ら企画し、CD「第二楽章」を作りヒロシマで発表した。朗読会の様子を交えながら、その想いを伝える。
平和 (37) -2	吉永小百合 祈るように語り続けた い 長崎編	VHS	51	ヒロシマの原爆詩の朗読を続けてきた吉永小百合が、初めて長崎の原爆詩の朗読に取り組む。熟読の末、自ら選び出した詩と物語を、爆心地に近い浦上天主堂で朗読した。彼女の行脚と、作者、関係者との交流を伝える。
平和 (37) -3	吉永小百合 祈るように語り続けた い アメリカ編	VHS	56	1999年、吉永小百合は原爆の惨禍を体験した人々が書いた詩を、アメリカで朗読した。核兵器、平和について思いをめぐらせるきっかけになれば、という願いからだ。朗読会を開くまでの過程と、会場での心をうつ朗読の模様を伝える。
平和 (40)	キムの十字架	VHS	80	太平洋戦争で、日本の敗戦も色濃くなった1944年、日本軍は密かに大本営と天皇の仮皇居を長野県松代に移すために大地下壕を掘る計画を建てます。そのために、遠く朝鮮から多くの人々が強制的に連れてこられます。「キムの十字架」は今日、強制連行、強制労働の実態が次々に明らかにされる中、子どもたちにも理解しやすくアニメーションで製作されました。
平和 (41)	消え去らぬ傷あと 火の海・大阪 (アニメーション)	DVD ・ VHS	20	昭和20年（1945）、大阪に住んでいた人びとも無差別の空襲によって、多くの尊い生命を失いました。二度とこのような不幸な戦争を繰り返してはならない。平和の尊さを訴えるアニメーション映画！
平和 (42)	100ばんめのサル (アニメーション)	DVD ・ VHS	17	いま、世界は戦争、核兵器の問題に視線が注がれています。地球を死の惑星から守るために一匹のサルが芋を洗って食べる事から始まります。そして、芋を洗って食べるサルが100匹になった時、不思議な現象が起こりました。100ばんめのサル、いや100ばんめの人間が手をつなぎ、世界中へ大きな人の和となつて広がっていくのです。
平和 (43)	さとうきび畑 (アニメーション)	VHS	11	ここにざわわ・・・聞こえますか 今、あらためて、平和への祈りを・・・ 忘れないで下さい。 多くの人々の祈りを平和への実りにするために。

非核・平和啓発

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
平和 (44) 2-1 2-2	さようならカバくん (アニメーション)	VHS	25	昭和20年3月10日東京大空襲の中、大三郎（9才）と妹の幸子（4才）たちは必死で炎の海から逃れて、おじさんの働いてる上野動物園に避難しました。動物園では、愛嬌のあるカバの大太郎と幸子はすぐに友達になりました。ところがある日、カバたちのプール水がなくなっていました。カバは水がなければ生きていけません。肌はカサカサになり、ひび割れ、やがて血の汗が出るのです。体の弱ったカバたちに大三郎は自分のわずかな水筒の水や、カンパンをあげましたが、カバは日に日にやせていきました。数日後、目を覚ました大三郎は、悲しい知らせを聞くのでした。
平和 (45)	絶滅収容所 ～アウシュビッツ・ビルケナウ・トレブリンカの場合～	VHS	20	第二次世界大戦が終わって半世紀が経過。現在もなお、心に深い傷を残している人は多い。平和な時代の今、戦争の狂気の事実を知ってほしい。ナチス・ドイツのユダヤ人絶滅政策とはどのようなものだったのか。ガス室に消えた人たちの遺品が、雄弁に語る事実。
平和 (46)	M A B U I	DVD	96	赤土に照りかえる陽射しと紺碧の海……。映画『M A B U I』は少年時代を昨日のように思い出させます。あれから60年の歳月を経て21世紀の扉を開いた今、日本は何処へ行くこうとしているのか。今ほど失いかけたものを思い出さねばならない時はありません。この映像がビデオになることによって、全国津々浦々の学校へ、地域へ、沖縄の平和の『魂』を届けてくれることを切に願ってやみません。 マブイとは、日本語の「真振り」が訛ったもの。魂という心のブラウン管に、自らが演ずべき人間としてあるべき真実の振る舞いのことです。驚いてわれを失った時、沖縄ではマブイを失ったと言って、マブヤー込のまじないをしますが、戦争の悲劇から立ちあがった子ども達はその体験を通して、やがて反戦の意識にめざめていく……。今、必見のビデオです。
平和 (47)	学習アニメーション 銃をなくそう	VHS	15	「銃なんていらない！」世界一安心して住める国にしよう！ 銃器犯罪の横行する日本。ごく普通の人まで拳銃発砲の被害に遭うようになった日本。銃のない安心して住める社会にするために、私たちがどうすればいいか？—そんなメッセージを子供から大人までわかりやすいアニメーションで15分にまとめました。 このフィルムは、私たちの日本のこうした状況を、ひょうきんなキャラクターのカエルの目を通じて描き、大人も子供も問わず銃器根絶への願いを自然に受け止められるものになっています。
平和 (48)	学習アニメーション 日本国憲法	VHS	15	どうして今、平和なの？主権在民、平和主義、基本的人権憲法の大特色が楽しく学べます。憲法の大切さをぜひ、子供たちに伝えたい！ 日本国憲法は、“主権在民”“平和主義”“基本的人権”を三大柱とし、内閣・国会・裁判所がお互いを常にチェックし合う『三権分立』のしくみをとっています。このような日本国憲法は、以前の明治憲法とは大きく異なっています。悲劇の戦争に巻き込まれる結果となった明治憲法と比較することにより、いかに憲法は大切なのか、なぜ守らなければならないのか……。心で憲法を考え、その真価を受け入れられる興味深い15分。

非核・平和啓発

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
平和 (49)	学習アニメーション わたしたちと原発	VHS	15	「原発って何？なぜ、日本にはたくさん原発があるの？」 子どもたちにそうたずねられた時、あなたはキチンと答えられますか？ 現代の日本は、世界でも有数の「豊かな国」であるといわれています。便利で、何でも手にはいるかのような暮らし。この「豊かな暮らし」は膨大な量のエネルギーを消費することによって成り立っているのです。その代表的なものが電気。今や、日本人にとって電気抜きの暮らしは考えられないでしょう。そして、日本の電気の実に30%近くが「原子力発電所」＝原発でつくられています。私たちの暮らしの一部は、現実「原発」によって支えられているのです。 いっぽう国民の86%もの人びとが「スリーマイルやチェルノブイリのような事故が日本で起きたら・・・」という不安を抱いています。 ところが、大部分の人たちにとって、「原発」は、巨大なブラック・ボックス（いろいろなモノが出てくるが中身はよくわからない箱）だというのが現状でしょう。正確な知識こそが「原発」を考えるための第一歩です。
平和 (50)	学習アニメーション 核戦争	VHS	15	核問題の本質を子どもたちに伝えたい。 現在、アメリカ、ロシア、中国、イギリス、フランスの5か国が保有する核兵器の総量は、約2万メガトン。広島型原爆の150万倍というものすごさ。しかもそのごく一部分が使用されても、爆発時のチリが成層圏に達し、地球は1か月で太陽の光が届かない、すべてが凍る「核の冬」となり、地球の生態系が完全に破壊されてしまいます。 核競争はとどまることを知らず、アメリカのSDI計画、ロシアの核実験凍結の解除など、私たちは核の時代のまっただ中にいるのです。
平和 (51)	学習アニメーション 原爆ドーム物語	VHS	15	“私は原爆ドーム。いつ、だれがこの名をつけたのかは、わからない” 「広島県産業奨励館」は、1945年8月6日、名前を失いました。人類が初めて原子爆弾の凶悪な炎で焼かれた瞬間でした。 戦争が終わり、「70年間は草も木も生えない」といわれた広島は、都市の姿をとり戻しましたが、原爆ドームだけは被害直後の姿のまま、核廃絶と平和を世界にアピールしてきました。それは人類のおかした愚考の証であり、平和を願う無言の訴えだったのです。〈原爆ドーム〉はどんな意味をもっているのか、未来への責任を担う人類のひとりとして〈ヒロシマ〉をどう伝えていくのか—それは、私たち20世紀の人間の責任ではないでしょうか。
平和 (52)	学習アニメーション 天に焼かれる	VHS	15	「原爆は私たちだけで・・・」 “運命の日”の証言と哀切の叫び 「リトル・ボーイ」—これが広島に投下された原爆です 1945年8月6日 午前8時15分、広島上空に飛来したB29のうちの機「エノラ・ゲイ号」から、TNT火薬約2万トンに相当する未曾有の破壊力を持った「リトル・ボーイ」が投下されました。 死者およそ20数万。生き残っても、生活が・・・人生が破壊されました。そして、今なお被爆の後遺症に苦しみ続けているのです。 ヒロシマ・ナガサキで、人類最大の惨劇があったという事実は、決して消えることはありません。
平和 (53)	21世紀に遺しておきたい 語り部シリーズ 特攻の町知覧	VHS	90	多くの青年たちが、特攻で命を失った。 この悲劇を生き残った人たちが、熱く平和を訴える。 太平洋戦争の日本軍の最後の作戦として、爆弾を積んで突撃していった特攻兵記録。突撃しても機体の故障で生還した人、終戦で飛び立つことすら叶わなかった人、兄弟を失った悲しみなど、今こそ語り継いでおきたい悲しい闘い。

非核・平和啓発

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
平和 (54)	21世紀に遺しておきたい 語り部シリーズ ナガサキ	VHS	60	ゲンバクは人間に何をしたのか！ 20世紀の世界10大ニュースのトップは広島・長崎に投下された原爆だった。 被爆者が自らの体験を語らなければ、人間を抹殺してしまう核兵器の恐怖を世界の人々は知らなかっただろう。原子野から不死鳥のようによみがえった長崎の3人の被爆者の訴えを聞いてください。そしてその体験を受け継ぐ人になってください。
平和 (55)	21世紀に遺しておきたい 語り部シリーズ オキナワ	VHS	60	あの戦争でただ一つ、民間人を巻き込んで激戦地となった沖縄の体験を未来を生きる子どもらにぜひ聞かせたい！！ 敗戦の色濃い太平洋戦争末期。本土を守る最後の砦となった沖縄。動員された中学生や女学生をはじめ、県民の多くが、米軍との激しい戦闘の犠牲となった。対馬丸からひめゆりまで、三人の体験者が語る平和へ思い。
平和 (56)	父と暮せば	DVD	99	人類史上初の原爆が投下されてから3年後の広島。 図書館に勤める美津江の前に、1人の青年が現れた。 その青年に好意を示され、美津江も一目で彼に魅かれていく。 しかし、愛する人々を原爆で失い、自分が生き残ったことへの負い目を感じている美津江は、自分の恋心を押さえつけようとしていた。 そんなとき、父の竹造（幽霊）が現れる。
平和 (57)	火垂るの墓 ※実写版	DVD	149	あの、戦争小説の名作「火垂るの墓」（作・野坂昭如 新潮文庫刊）が、終戦60年目の今年、ついに実写ドラマ化されることになりました。 涙なくしては語れない、 歴史の重みを持つ《本物の感動》が、この秋、日本中を包み込みます・・・ 野坂昭如さんの原作小説「火垂るの墓」は、14歳の清太と4歳の節子の幼い兄妹が戦争下の極限状態が二人だけで生きぬこうとする様子を繊細に描いています。 スペシャルドラマ版『火垂るの墓』でも、もちろん、この清太と節子の幼い二人を描きます。 幼い彼らが、けなげに・・・しかし力強く・・・戦争という悲惨な状況下を生き抜いてゆこうとする姿を、リアルに・・・そして・・・切なく描き出します。
平和 (58)	この子を残して	VHS	128	昭和20年8月9日、歴史ある美しい街・長崎は原爆の閃光に一瞬にして死の町と化し、すべてが地上から消えた。死者8万人、生き残ったものにも絶望だけが刻み込まれた。 運命の日、永井隆は一瞬にして最愛の妻・緑を失った。自宅のあった焼け跡には妻の黒いかたまりとロザリオだけが残っていた。爆心地付近で、医療活動にあたった隆もまた被爆し余命いくばくもなかったが、残されていく二人の幼な子に、懸命に人間の尊厳と本物の愛を伝えようとするのだった。

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
平和 (59)	戦争童話集①	DVD	64	第1話 小さい潜水艦に恋をしたでかすぎるクジラの話 日本海軍の潜水艦を自分の仲間だと思いこんで恋をしてしまった一頭のクジラが、その恋人を守るためにくりひろげられる美しくも哀しいラブ・ストーリー。人間を疑うことを知らないクジラの、一途な想いが、胸を打ちます。 第2話 凧になったお母さん 戦火の中を逃げまどう、カッチャンとお母さん。燃え上がる火の中で、お母さんはカッチャンのために、必死に子守歌を歌います。「どうせ死ぬのなら、苦しみ少なく」と歌い続けます。カッチャンはいま、どこにいますでしょう。 第3話 年老いた雌狼と女の子の話 年老いた狼が死に場所を求めてさまよい歩いている時、病気で捨てられてしまったキクちゃんという女の子に出会います。キクちゃんと会ったことで再び生きる勇気を取り戻した狼と、一匹ぼっちのキクちゃんの運命は？
平和 (60)	戦争童話集②	DVD	72	第1話 青いオウムと瘦せた男の子の話 小さな防空壕の中にオウムと男の子が住んでいました。戦死したお父さんが南の国からおみやげに買ってきてくれたオウムは、爆撃のショックで言葉を忘れた男の子にダイジョーブ？と語りかけ男の子を励ましつづけます。 第2話 干からびた象と象使いの話 戦争になり、動物園の動物たちが処分されることになりました。人間が食えないのに、動物にやる食料などないということです。象を殺せと命令を受けた象使いのおじさんは象を連れて動物園を逃げ出し、スリリングな旅に出ます。 第3話 赤とんぼと、あぶら虫 赤とんぼと呼ばれる小さな飛行機に乗って、敵機に飛行機もろとも突っこんでいく特攻機。しかし、突っ込みそこなって帰るところもなく、南の島に不時着した少年飛行士は、一匹のあぶら虫と友達になり、命の尊さを知ります。
平和 (61)	戦争童話集③	DVD	70	第1話 八月の風船 日本軍の秘密兵器“ふ号兵器”。大きな風船に爆弾を仕掛け、ジェット気流にのせてアメリカ本土を直接攻撃する実際にあったお話です。紙とコンニャク糊で作られた風船爆弾は、はたしてどこまで飛んで行ったでしょう。 第2話 捕虜と女の子 日本軍に捕らえられた捕虜のスティーブは、焼け落ちた収容所から逃げ出し、人気のない横穴壕で小さな女の子に出会います。言葉を超えて、本当の兄妹のように仲良くなったスティーブと女の子を待ち受ける運命の皮肉！ 第3話 ソルジャーズ・ファミリー 食料のない南の島に取り残された兵士たちを飢えがおそいます。三百人いたのが、いまでは五人に。一番若くて元気だった兵士も、やがて龍宮城へ、冒険ダン吉の国へ、日本へと、夢の世界をさまよいはじめました。
平和 (62)	戦争童話集④	DVD	79	第1話 馬と兵士 馬が大好きな若い兵士は、爆弾で傷ついた馬と一緒に兵営を逃げ出します。不名誉な脱走兵となった兵士は、でも馬と一緒に死ねるならいいや、何より死ぬ前に自由になれたんだからしあわせじゃないか、と思うのでした。 第2話 ぼくの防空壕 お父さんが戦地に出かける前に一生懸命掘って作ってくれた防空壕。そこに入れば、少年のそばにはいつだって戦死したお父さんが寄り添って励ましてくれます。大好きな僕の防空壕、空襲だってちっとも怖くありません。 第3話 焼跡の、お菓子の木 な～にもない焼跡で子供たちが見つけた一本の、いい匂いのする不思議な木。葉を一枚食べてみると「うわっ、おいしいっ。」空襲で死んだママの熱い思いが育てたお菓子の木。大人たちは誰もこの木に気がつきません。

非核・平和啓発

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
平和 (63)	東京大空襲 60年めの被災地図	DVD	52	空襲下の2時間半に迫る 昭和20年3月10日、アメリカ軍による東京の住宅密集地への爆撃が始まった。東京大空襲である。32万発もの焼夷弾が投下され、10万人が命を落とした約2時間半の間、地上で何が起きていたのか。犠牲者の足跡を記した「被災地図」を手がかりに、生存者の証言や当夜の様子を描いた絵、さらに米軍の資料などを通して、東京大空襲の全体像に迫る。
平和 (64)	一瞬の戦後史 スチール写真が記録した世界の60年	DVD	60	第二次世界大戦が終結してから60年。激動の世界を膨大な数のスチール写真が記録していた。 1947年報道写真家ロバート・キャバが訪れたソビエトの農村。 1950年東西冷戦の発火点となった朝鮮半島で、捕虜となった北朝鮮の元軍人。 1967年アメリカのベトナム反戦デモで、銃を突きつける警備隊に花をささげた少女。 1992年旧ユーゴスラビア紛争で、民族が違うというだけで隣人から恐ろしい仕打ちを受けたサラエボの家族・・・ 至近距離で人間の表情を鮮明に映し出したスチール写真から、時代の真実が見えてくる。第二次世界大戦後の世界をスチール写真によって見つめなおし、つさらに被写体となった人々を訪ね、過去と現在の一瞬の遷り変わりに、60年の戦後史を映し出していく。
平和 (65)	アウシュビッツ	DVD	1. 135 2. 90	第2次世界大戦中、ユダヤ人を中心に、100万人以上が虐殺されたポーランド・アウシュビッツ強制収容所。この「絶滅収容所」誕生のきっかけは何だったのか。そして、アウシュビッツはどのような終焉を迎えたのか。東欧で新たに公開された資料に基づき、当時の収容所の様子をCGで再現。アウシュビッツの変遷を克明に追うと同時に、生々しい言葉を通じて、加害者側と被害者側、双方の深層心理に迫る
平和 (68)	黒い雨 ～広島・長崎原爆の謎～	VHS	45	広島と長崎に原爆が投下された直後、爆心地周辺に万年筆大の黒い雨が降った。この証言をもとに、一体この黒い雨の正体は何なのか・・・？人間や環境への影響は・・・？40年前に残された物証やデータを手掛かりに、科学分析と推理で「黒い雨」の謎に迫る。
平和 (70)	ヒロシマナガサキ 核戦争のもたらすもの	VHS	46	広島・長崎の被爆者は口をそろえて言う。 「今、私たちが一番残念に思うことは、原子爆弾が私たちの上に落とされた“あの時”のことではありません。現在に至ってもなお、核兵器がつくられていることです。」 原子爆弾被爆の体験は決して過去のものではない。核兵器が巨大化、高性能化した今日であればこそ、その事実を日本の全ての人に、世界の全ての人に、知ってもらう必要がある。広島市と長崎市がこの映画を企画した意図もそこにあった。 物理的破壊力・それによって人間生活の基盤である社会そのものを奪った事実・瞬間・大量の殺傷・人体を長期にわたって苦しめつづける放射線傷害これら一つ一つの事実と総合的被害の実相は、今日あるいは明日の核戦争への警告である。 このビデオは、科学者たちの報告を集大成した書物『広島・長崎の原爆災害』（岩波書店）に基づき、あくまでも科学的な視点から、原子爆弾被爆の総合像を描いた記録映画のビデオ版である。

非核・平和啓発

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
平和 (71)	男たちの大和	DVD	143	彼らはただ、愛する人を、家族を、友を、祖国を、自らの命に代えてまもりたかった……。太平洋戦争下の昭和19年10月、日本の劣勢挽回を計ってレイテ沖に出撃した世界最大最強の戦艦大和この大和には数千の特別年少兵が乗組員として戦闘に参加、彼らの間に多くの死傷者を出した。翌年4月、沖縄水上特攻の命を受けて再び出撃。米軍の猛攻下、壮絶極まりない最後の戦闘に挑んで行く。戦後の60年、この痛ましい戦時下の青春、家族愛は、悲劇のシンボル（戦艦大和）の思い出と共に、日本人の記憶として永遠に語り継がれていく。
平和 (72)	広島・昭和20年8月6日	DVD	122	今から60年前。広島と長崎に落とされた原爆ですくなくとも十数万人の命が奪われ、今尚被爆の後遺症に苦しんだり、心に計り知れない悲しみを抱える人が大勢います。世界で唯一の被爆国日本。その事実を知らせると同時に、平和への強いメッセージがこめられています。原爆投下など露知らず、明日への平和を信じて懸命に生きた姉妹たちの、昭和20年7月16日から8月6日までの20日間の物語。
平和 (73)	月光の夏	DVD	111	どうしても、もう一度ピアノが弾きたい。名曲「月光」を弾きこなしした後、大空に飛び立っていった特攻隊員。そのピアノは今も残っていた。初夏のある日、2人の特攻隊員が訪れた。”明日に迫った出撃を前に、ピアノが弾きたい。”と駆けてきた。共に学徒出身の音楽を愛する若者だった。音楽学校出身の隊員はベートーベンのピアノ・ソナタ「月光」を弾いた。師範学校出身の隊員は、子どもたちの歌う「海ゆかば」を伴奏した。そして満足そうに基地へ帰っていった。それから2ヵ月後、戦争は終わったが、2人は帰ってこなかった。
平和 (76)	軍隊をすてた国	DVD	86	中米コスタリカ共和国 軍隊を廃止し、半世紀以上がたつ21世紀の今、世界が注目するこの国で、人々は何を考えて暮らしているのだろうか ―音楽と踊りに導かれ、淡々と描かれる「軍隊をすてた国」に住む人々―
平和 (77)	美しい夏キリシマ	DVD	160	1945年夏。南九州の霧島地方では、敵機グラマンが田園を横切り悠々と飛んでいく。15歳の日高康夫は、動員先の工場で空襲に遭い、親友を見殺しにしたと言う罪の意識から、毎日を鬱々と過ごしていた。厳格な祖父・重徳は、そんな康夫を非国民とものしるが、大人たちの間にも混乱の空気は広がりつつあった。康夫の叔母の美也子は、特攻隊の愛人と最後の逢瀬を交わし、農婦のイネは村の駐屯兵と死に物狂いの関係を持つ。そんなある日、康夫は思い切って、死んだ友達の妹・波に会いに行く。一度は追い返された康夫だが、再び許しを乞いに訪れたとき、波からある命題を突きつけられる……………
平和 (78)	TOMORROW 明日	DVD	105	1945年8月8日の長崎で、一組の結婚式が行われようとしていた。花嫁は看護婦のヤエ、花婿は工員の中川庄治だった。戦時下ゆえ何時空襲になるかわからない事もあり、式は慎ましやかに行われた。写真を撮り終えたところで姉のツルコが陣痛を訴えた。ヤエの同僚の亜矢は妊娠3ヶ月だったが、恋人の高谷藤雄は呉へ行ったきり音沙汰がなかった。鶴の家には産婆がやって来て、「産まれるのは夜になるだろう」と言った。ヤエの妹昭子は恋人の長崎医大生・秀雄と会っていた。英雄は赤紙が来たことを告げ、駆け落ちを進めたが、昭子は「それでも男ね」と突っぱねた。庄司とヤエは初夜を迎え、ツルコは男児を出産した。誰もが明日に向かって精一杯生きていた。8月9日の朝、いつもと少しも変わりはなかったが、午前11時2分、長崎に原子爆弾が投下された。

非核・平和啓発

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
平和 (79)	エイジアン・ブルー 浮島丸サコン	VHS	111	1945年8月24日、青森での激しい労働から解放され、帰国の途にあった数千人の朝鮮人達を乗せた輸送船浮島丸が京都・舞鶴湾で爆沈した。戦後50年を経て、在日韓国・朝鮮人の大学講師・林は、教え子の姉妹と共に当時を知る人々の話しを聞いていくうち、韓国・朝鮮人たちがおかれた過酷な環境を追体験する・・・・・・
平和 (80) 1-2	トビウオの坊やは病気 です	DVD ・ VHS	19	いつも元気で明るいトビウオの坊やは、お母さんと空を飛ぶ練習をしていました。サンゴ礁の海の上をビューと飛ぶトビウオの親子、「ぼく、飛んだ飛んだ!!」と大喜び、トビウオの坊や。其のとき、突然火の玉のような大爆発が起こり、海の底はめっちゃめっちゃになりました。友達は死に、トビウオの坊や達のおうちも、何もかも壊されてしまいました。そして、空から白い灰がいっぱい降ってきたのです。それをかぶったトビウオの坊やは、病気になり寝たきりになってしまいました。もうお父さんやお母さんと一緒に、空を飛ぶことはできないのでしょうか。一体なぜこんな事になってしまったのでしょうか。
平和 (81)	教えられなかった戦争 ・ 沖縄編 -阿波根昌鴻・伊江島の戦い	VHS	170	私たちの平和運動は、米軍基地を日本からなくしただけでは終わらない。平和憲法を世界に広め、地球上から戦争も武器も無くす。そして地球の資源を全ての人で分け与える社会。能力に応じて働き、必要なだけ受け取れる社会を築くまで続けるのです。沖縄の戦いの歴史と阿波根昌鴻さんの思想形成。沖縄戦・米軍による土地強奪・伊江島の戦い。沖縄の米軍基地、日米安保の真の目的。
平和 (82)	教えられなかった戦争 侵略からの解放・革命 中国編	VHS	158	明治以来、他国を侵略して経済発展を続けている日本、帝国主義列強の侵略と戦い、人民を解放し、階級のない社会を作り出した中国。“たとえ戦犯であっても、みな人間である限り人格を尊重し、反戦平和のために戦う人間に戻る。” 私たちは、中国のこの政策から、今深く学ぶ必要があります。
平和 (84)	明日への伝言 祈りかさねて 神戸60年目の記憶	VHS	30	60年前の戦争の出来事を記憶のどこかに残すこと。
平和 (85)	明日への伝言 ふるさと・平和への調 べ 鹿 児島 忘れがたき空襲 の記憶	VHS	30	八回もの大きな空襲を受け、壊滅的な被害を受けた鹿児島市。降り注ぐ焼夷弾の雨。炎につつまれ、市内ほとんどが焼け野原になり、数多くの一般市民の命が奪われた・・・。
平和 (86)	明日への伝言 イタンキ浜の夏 室蘭 艦砲射撃の爪痕	VHS	25	どれだけ時間が経っても、消えない記憶がある。
平和 (87)	ながさきの子うま	DVD ・ VHS	27	昭和20年、長崎の浦上天主堂の鐘が聞こえる農家で、とても元気のいい子馬がうまれました。名前を「いなさ号」といいます。夏のある日、広島にすごい爆弾が落ちて街は全滅したと、カラスが教えてくれました。沖縄もやられ日本中が戦場になろうとしています。「私は大変な時にこの子を産んでしまった。」母馬は、爆弾の落ちてこない山にいなさ号を連れて行こうと考えます。山で暮らせると聞いて喜び跳ねるいなさ号。その時、まるで太陽がまるごと落ちたような光と大爆発。いなさ号は爆風で吹き飛ばされた馬屋の下敷きに。母馬は必死でいなさ号を助け出しました。しかし、本当は母馬も、動けないほどの大怪我をしていたのです。

非核・平和啓発

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
平和 (88)	おかあちゃんごめんね	DVD ・ VHS	26	大阪の古い街、堺。泣き虫の絹ちゃんは体の弱いお母さんと、小さな赤ちゃんのみち坊と3人暮らし。毎晩のように続く空襲は、日本中の大きな町を焼け野原にしていきました。7月10日夜、B29の大編隊。大阪の町に降る雨のような爆弾。火の海は絹ちゃんたち親子3人にも容赦なくせまってきます。お母さんはこん身の力をふりしぼって逃げようとするが力つきで動けません。3人で一緒に逃げようとする絹ちゃんその時、炎の中でお母さんがとった行動とは・・・
平和 (89)	夕風の街 桜の国	DVD	118	夕風の街：昭和33年、復興が進む広島で、平野皆実（みなと）は母親・フジミと貧しくも平穏に暮らしている。弟・旭は戦争中に水戸へと疎開し、そのままおば夫婦の養子になっていた。ある日、皆実は会社の同僚・打越から愛の告白を受ける。しかし、原爆で自分が生き残った罪悪感を感じる皆実は、幸せに飛び込んでいけない。そんな皆実の思いを打越は優しく包み込む――。 桜の国：平成19年、夏の東京。定年退職した旭と一緒に暮らす娘の七波は、父親の最近の行動を心配していた。今夜も一人、家族に内緒で出かけていく旭のあとをつけてみると、広島へと行き着く。七波は、広島で旭が立ち寄る先や会う人々を遠めに見て行くうちに、亡くなった祖母・フジミや伯母皆実へ思いをめぐらせる。七波は、家族や自分のルーツを見つめ、広島でかけがえのない瞬間を過ごしていく。
平和 (90)	十六地蔵物語 ー戦争の犠牲になった子どもたちー	VHS	26	当時、日本は朝鮮人、中国人をたくさん連れてきて働かせていました。朝鮮人労働者の子どもである3年生の栄太と6年生の姉の順子は集団疎開に行くことになりました。 貞光町の人たちは温かく迎えてくれました。しかし、生活は子供たちにとって過酷なものでした。早朝から武道の訓練に始まり、勉強、食糧の買い出し、農作業の手伝い、薪拾いと厳しい日課の明け暮れです。それにもまして苦しめられたのは、空腹、さびしさ、ノミ、シラミでした。 寮母の清子は、寝小便をする子が増えてきたのに心を痛めました。精神的な不安定さや、汲み取り口から赤い手がニュートンと出るという噂のため、子どもたちは一人で便所に行けなくなっていたのです。先生達は禁を破って便所に電灯をつけました。その配線が原因なのか1月末の寒い夜、火災が発生したのです。ぐっすり寝込んだ子どもたちは逃げ遅れ、男子組29人中16人が焼死するという大惨事となりました。栄太もその一人でした。弟を亡くした順子は卒業のため大阪に帰ったのですが、卒業式を明日に控えた3月13日夜、大阪の大空襲にみまわれ、翌日の卒業式にはだれ一人として現れません。敗戦の年の8月、徳島県の子ども達全員と教職員とがお金を出しあって、真光寺にお地蔵さんを建立しました。「十六地蔵尊」と呼ばれ、その後、命日には関係者が集まり法要が営まれています。
平和 (91)	バルトの楽園	DVD	134	1914年、第一次世界大戦中の徳島県鳴門市の坂東俘虜収容所を舞台に、軍人でありながら、生きる自由と平等の信念を貫き通した所長・松江豊寿（まつえとよひさ）の指導によって、ドイツ人捕虜達が収容所員や地元民と文化的・技術的な交流を深めベートーヴェン作曲「交響曲第九番 歓喜の歌」を日本で初めて演奏したという奇跡的な実話をベースに描く感動大作。

非核・平和啓発

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
平和 (92)	もうひとつの 沖縄戦 記	DVD	30	めぐまれた豊かさの中で、平和の尊さを感じることはむずかしい しかし、忘れてはいけない あのひ、あのとき、そんな子どもたちがいたことを。 学んでほしい、戦争のことを 知ってほしい、平和の尊さを 守ってほしい、未来の平和を
平和 (93)	きみはヒロシマを見た か	VHS	45	あなたはヒロシマを見たことがありますか。二度とふたたびヒロシマの悲劇を見ないために、私たちはヒロシマを見つめなければなりません。広島原爆資料館には、被爆の悲惨さを伝える数多くの遺品が展示されています。そしてその一つ一つに、見るだけではわからない戦争の悲劇が秘められているのです。歴史の証人ともいえる人々が訴える悲劇の全貌、そして平和の願い……。みなさん、ヒロシマをじっくり見てください。
平和 (96)	アイ・ラブ・ピース	DVD	118	ろう者の花岡いづみは、義肢装具士をめざして働いている。会社の先輩久保が義足製作支援のためにアフガニスタンに行くという。いづみも同行を決意する。戦争の傷跡も生々しく今も地雷による被害者が後を絶たないカブール。診療所で忙しい毎日を過ごしていたいづみは、ある日地雷で片足を失ったパリザットに出会う。「杖なしで歩ける義足をつくってあげたい」と思ういづみだが……
平和 (97)	ちいちゃんのかげおくり	DVD	17	お父さんが出征する前の日ちいちゃんは『かげおくり』というあそびを教えてもらいました。青い空に親子四人のかげぼうしがすうっと上がり、まるで記念写真のようです。それからかげおくりをして遊ぶようになりました。夏のある夜、ひどい空襲の中、ちいちゃんはお母さんとお兄ちゃんとはぐれてひとりぼっちになりました。そのとき、明るい光がまぶしくて目が覚めたちいちゃんに、お父さんの声が青い空から降ってきました……
平和 (98)	銀の鈴	DVD	81	太平洋戦争末期の沖縄。日本軍部の指示で、沖縄から老人・女性・学童ら10万人の疎開が開始された。子供たちの親は航海の安全を信じ、我が子を疎開させる。そして彼らは、運命の8月22日を迎える。救助された学童たちには緘口令がしかれ沈没の事実隠された。
平和 (99)	ひろしまのピカ	DVD	83	「原爆の図」の絵本版ともいえるロングセラー「ひろしまのピカ」は世界十数カ国で翻訳され、多くの荣誉ある賞に輝いた。本作はこの丸木俊の絵本を完全映像化。語りには中山千夏、竹下景子らが参加。丸木夫妻は原爆投下直後の広島に一ヶ月滞在し被爆者の救援にあたる。帰還後二人は共同で筆をとり、大作「原爆の図」15部作を製作。本作は夫妻の創作活動と画業を辿り、未来への希望を語る。
平和 (100)	太陽をなくした日	DVD	20	舞台は広島。大人たちは戦争のため訓練に明け暮れているが、子ども達は関係なく日常を過ごし元気に走りまわっている。それは原爆が投下された朝も……。
平和 (101)	ひかりごけ	DVD	73	第二次世界大戦の最中の1944年（昭和19年）12月。日本軍の急務を負った船団「暁部隊」は小樽港に向けて根室港を出帆した。空模様は朝から怪しく、羅臼沖合にさしかかった頃、北海道特有の吹雪が襲いかかる。不安な航海を続けていた船団の中の1隻がついに機関部に故障を生じて難破してしまう。4人の乗組員、船長、八蔵、五助、西川はロープをつたって辛うじて近くの孤島に難を避けるが、雪と氷に覆われた島には、人間の食用となりうるものは時々見かけるアザラシぐらいである。4人は壊れかかった小屋から洞窟へと避難場所を替えるが、最後のアザラシの肉をむさぼり食って以来、海岸にはもう何一つ見当たらない。襲いかかる飢えと寒さーお互い励まし合って、その状況に耐えていた4人も今では孤独の中に閉じ込められ、重い沈黙が支配するばかり。そして生き残るための壮絶な葛藤が始まるー。

非核・平和啓発

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
平和 (102)	生命ある限り ～被爆者が語るあの日から 今もなお～	DVD	49	伝えたい わたしたちが最後の被爆者であることを願って 新しい生命よ、健やかに 再び被爆者を生み出さないために
平和 (103)	学ぼうヒロシマ	DVD	76	・記憶を受け継ぐ 中国新聞ジュニアライターが取材した被爆者の証言 ・平和をになうのは私たち ― ジュニアライターの活動 ― ・1945 原爆と中国新聞(ダイジェスト版)
平和 (104)	映画 千羽鶴	DVD	67	1955年、広島少女さだ子が原爆症で亡くなります。クラスメイトたちはこれ以上子どもたちが戦争や原爆の犠牲にならないようにとの願いを込めて、原爆の子の像の建設募金活動を始めます。撮影はモデルとなった佐々木貞子さんの家や実際に通っていた小学校、そして入院した原爆病院などで行われ劇映画でありながら「時代の記録」として大変貴重な作品です。
平和 (105)	いわたくんちのおばあちゃん	DVD	20	寛太は現在の小学生です。友達のおばあちゃんの話聞くうちに、原爆のことや戦争のことを自分の問題としてとらえ、平和への決意をしていきます。この作品は昭和20年8月の広島で起こった実際のお話をもとになっています。
平和 (106)	私の戦争体験	DVD	68	元海軍航空整備兵 瀧本邦慶さんによる戦争体験講話 うずみ火講座2016 2016年12月10日 大阪市立東淀川区民会館 主催：新聞うずみ火
平和 (107)	アニメ ひめゆり	DVD	30	かつて沖縄で、日本とアメリカの戦争がありました。およそ90日ものあいだ、空からも海からも陸からも、おびただしい数の爆弾が沖縄の地に撃ち込まれました。その戦争で、沖縄師範学校女子部と沖縄県立第一高等女学校の生徒は、「沖縄陸軍病院」に動員され、負傷兵の看護におわれました・・・このアニメを通して平和への思いが次の世代へつながっていくことを願ってやみません。
平和 (108)	涙に浮かぶ記憶	DVD	28	全国中学生人権作文コンテストで法務大臣賞を受賞した「戦争を次世代へ伝えて」を映像化。 修学旅行中の学生が戦争体験の語り部の高齢者に心無い言葉を浴びせたことをきっかけに、女子中学生が過酷な戦争体験を持つ曾祖父や元特攻隊員の方に、大変な時代を生き抜いた貴重な声を聴きだします。戦争への拡大の足跡を資料映像でたどると共に、二度と同じ過ちを繰り返さないために、次世代に戦争の悲惨さを伝える重要性を訴えます。
平和 (109)	ヒロシマ ナガサキ	DVD	46	広島・長崎の被爆者は口をそろえて言う。「今私たちが一番残念に思うことは、原子爆弾が私たちの上に落とされた“あの時”ではありません。現在に至ってもなお、核兵器がつくられていることです。」 原子爆弾被爆の体験は決して過去のものではない。核兵器が巨大化、高性能化した今日であればこそ、その事実を日本の全ての人に、世界の全ての人に、知ってもらう必要がある。広島市と長崎市がこの企画をした意図はここにあった。 物理的破壊力・それによって人間生活の基盤である社会そのものを奪った事実・瞬間、大量の殺傷・人体を長期にわたって苦しめつづける放射線傷害 これら一つ一つの事実と総合的被害の実相は、今日あるいは明日の核戦争への警告である。 このビデオは、科学者たちの報告を集大成した書物『広島・長崎の原爆災害』（岩波書店）に基づき、あくまでも科学的な視点から、原子爆弾被爆の総合像を描いた記録映画のビデオ版である。

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
平和 (110)	The A-bomb ヒロシマで何が起ったのか	DVD	46	「The A-Bomb ヒロシマで何が起ったのか」は、広島ローカル放送局である中国放送と、原爆投下直後の1945年秋に広島で撮影した未編集フィルムを所有する日映映像とが、共同でハイビジョン化した原爆フィルムを元に制作された教育用映画です。この映画は2006年に中国放送で放送した番組を基に、新たに判明した情報なども盛り込んで再構成したもので、世界に原爆を伝える普遍的な教育映画として日本語版・英語版が完成しました。この映画の特徴は、広島原爆を『熱線』被害、『爆風』被害、混乱を極めた『救護活動』、長期にわたる『放射線』被害の4項目に分け、当事者の証言インタビューを織り交ぜながら、原爆を知らない和世代にも分かりやすい内容で伝えていることです。特に重点を置いたのは、従来の兵器と決定的に違う放射線の脅威です。原爆投下直後から現れた急性放射線傷害や、数年経ってからでてくるガンなどの症状、そして「最も若い被爆者」といわれる原爆小頭症患者の現状まで盛り込み、今も続く放射線被害者の実態を伝えます。
平和 (111)	二重被爆	DVD	60	1945年8月、米国は「戦争終結のため」という美名のもと、人間の肉体と精神の尊厳を破壊し尽す原意爆弾を広島・長崎の2つの都市に投下した。しかも3日間、75時間、直線距離にして約300キロ。既に戦意喪失の日本に対し、2度も原子爆弾を落としたのは何故か？「二重爆弾」の事実は歴史の中に埋もれたまま、61年間区には聞き取り調査すらしてこなかった。「キノコ雲に広島から長崎まで追いかけて来たんじゃないかと思った」と語る山口彊さん。この映画を通じて、人種や言葉を超え、原爆の非人道性を世界に伝える行動が始まる
平和 (112)	平和のバトン アンネフランクの形見のバラ	DVD	18	1972年、「アンネの日記」の著者であるアンネ・フランクの父、オットー・フランクさんから、平和を伝える「アンネ・フランクの形見のバラ」が日本に贈られてきました。このバラを通して受け継がれてきた「平和のバトン」の物語をご紹介します。学校や地域での平和、人権の学びにお使いください。 小学校、中学校、高校生・一般用の学びのプリントもあります。
平和 (113)	わかりやすいホロコーストの学び ～アンネ・フランクの生涯と共に～	DVD	38	この「わかりやすいホロコーストの学び～アンネ・フランクの生涯と共に～」は、学校（主に高校や大学）、団体、地域での平和・人権学習で使っていただける映像です。アンネ・フランクの生涯と共に、ホロコーストの出来事を、映像を交えてわかりやすく学ぶことができ、また、ホロコースト記念館の展示について分かりやすく紹介しています。映像を見る前後に取り組みする学びのプリント（B5版、表裏）も付属しています。
平和 (114)	広島原爆 魂の撮影メモ 映画カメラマン鈴木喜代治の記した広島	DVD	28	幻の原爆映画と言われた原爆被災記録映画「広島・長崎における原子爆弾の影響」。この映画の生物班の撮影に携わった、カメラマン鈴木喜代治が記した一冊の撮影メモから、当時の広島の惨状と平和の尊さを伝えます。